

宮城県感染症発生動向調査情報(第52週)

宮城県【平成26年01月08日】発行

宮城県保健環境センター

TEL (022)257-7228

— 2013.12.23 ~ 12.29 ・ 第52週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								仙 台 市				宮 城 県 (含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第49週	第50週	第51週	第52週		
水痘	20 4.00	15 1.50	12 2.40		2 0.67	43 8.60	4 2.00	25 0.96	121 2.09	3,428	◎ →	◎ →	◎ →	◎		
流行性耳下腺炎	1 0.20	1 0.10	1 0.20		2 0.67		13 6.50	1 0.04	19 0.33	1,199	○ →	○ →	○ →	レ		
百日咳											→	→	→			
感染性胃腸炎	58 11.60	109 10.90	39 7.80	23 11.50	32 10.67	83 16.60	18 9.00	482 18.54	844 14.55	17,130	◎ →	◎ →	◎ →	◎		
手足口病	1 0.20		1 0.20	1 0.50				2 0.08	5 0.09	4,621	○ →	レ →	→			
伝染性紅斑		2 0.20		4 1.33	1 0.20			32 1.23	39 0.67	845	→	○ →	○ →	○		
突発性発しん		1 0.10	5 1.00	1 0.50	3 1.00	1 0.20	2 1.00	8 0.31	21 0.36	1,912	○ →	○ →	○ →	レ		
ヘルパンギーナ											→	→	→			
インフルエンザ	1 0.13	1 0.07	2 0.25			8 1.00		16 0.38	28 0.30	15,833	○ →	レ →	→	○		
咽頭結膜熱	1 0.20	2 0.20				1 0.20		10 0.38	14 0.24	771	→	→	→			
流行性角結膜炎		3 1.00				1 1.00		1 0.17	5 0.42	171	→	→	→			
急性出血性結膜炎											→	→	→			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17 3.40	15 1.50	2 0.40	9 4.50		14 2.80		37 1.42	94 1.62	5,136	◎ →	◎ →	◎ →	◎		
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→			
無菌性髄膜炎											→	→	→			
マイコプラズマ肺炎		3 3.00					6 6.00	2 0.40	11 0.92	922	→	→	→			
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→			
RSウイルス感染症	1 0.20	6 0.60	2 0.40	1 0.50	2 0.67	5 1.00	18 1.00	35 0.69	1,325	◎ →	◎ →	◎ →	○			
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	3	3	1	2	1	13	4	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向							
	川崎病							8	【週報の詳細】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/							
	不明発疹症							1								
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※								1 0.20	2 0.08							

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第50週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)
インフルエンザ: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は山口県(4.24)、鹿児島県(3.01)、高知県(2.44)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は42例と前週と比較して増加した。都道府県別では23都道府県から報告があり、年齢別では0歳(2例)、1~9歳(11例)、10代(1例)、20代(1例)、30代(1例)、40代(3例)、50代(2例)、60代(2例)、70代(9例)、80歳以上(10例)であった。**RSウイルス感染症**: 報告数は4,385例と横ばいであった。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約71%を占めている。**咽頭結膜熱**: 報告数は第46週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮城県(2.11)、鹿児島県(2.07)、島根県(2.04)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 報告数は第46週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は山形県(6.27)、新潟県(4.56)、北海道(4.47)である。**感染性胃腸炎**: 報告数は第46週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は埼玉県(30.77)、群馬県(28.38)、東京都(26.48)である。**水痘**: 報告数は第46週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は福井県(3.86)、新潟県(3.74)、佐賀県(3.52)である。**手足口病**: 報告数は第45週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は宮城県(3.44)、鹿児島県(2.78)、佐賀県(2.22)である。**ヘルパンギーナ**: 報告数は第31週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は富山県(0.17)、滋賀県(0.13)、香川県(0.13)、沖縄県(0.12)である。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は富山県(1.60)、宮城県(1.42)、岩手県(1.16)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 増加した。都道府県別では14都道府県から19例報告があり、年齢別では0歳(5例)、1~4歳(9例)、5~9歳(4例)、10代(1例)
 * 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所))の集計結果です。()内の数字は定点当たり報告数となります。

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
 2類感染症: 結核
 塩釜管内 男性2名、女性1名
 仙南管内 女性1名
 石巻管内 女性1名
 仙台南管内 女性2名(第48週)
 女性3名(第51週)
 男性1名
- 3類感染症: 報告なし
 4類感染症: レジオネラ症
 石巻管内 男性2名
- 5類感染症: 風しん
 仙台南管内 女性1名(第51週、検査診断例、推定感染地域: 国外)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント - 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 -

- [水痘]
 石巻管内で警報値を超えた。
 仙南管内で注意警報値を超えた。
- [流行性耳下腺炎]
 気仙沼管内で警報継続中。
- [A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
 栗原管内で警報継続中。

- 【病原体検出情報】**
 ~宮城県保健環境センター~
 感染性胃腸炎集団発生事例より
 仙南管内 第51週採取分 ノロウイルスGⅡ 3件
 塩釜管内 第52週採取分 ノロウイルスGⅡ 2件

~仙台医療センターウイルスセンター~

	第50週採取分 (12.9~12.15)	第51週採取分 (12.16~12.22)	第52週採取分 (12.23~12.29)
インフルエンザウイルス(解析中)	0件	2件	0件
RSウイルス	2件	1件	0件
ライノウイルス	1件	0件	0件

【HIV感染者、AIDS患者累積報告数】 平成25年9月29日現在

	HIV感染者	AIDS患者
宮城県	107(4)	74(2)
全 国	15,448(261)	7,080(108)

()内は平成25年7月1日~平成25年9月29日分の報告数である。
 国立感染症研究所・感染症疫学センター IASR2013年12月報より